

北翔大学短期大学部で学ぶみなさんへ

～学長からのメッセージ～

北翔大学短期大学部

学 長 山 谷 敬三郎 Keizaburo Yamaya



2020（令和2）年1月に感染が判明した新型コロナウイルス感染症への対応が4年目になっています。感染症法上で分類変更になったとしても、気を緩めずに、感染拡大防止のために私たち一人ひとりが出来ることを着実にやり、一日も早く日常を取り戻すことができるよう共に頑張りましょう。

北翔大学短期大学部は、1963年に北海道女子短期大学として開学してから今年で60年目を迎えます。建学の精神にある「自立できる社会人の育成」を基本にした高等教育機関で学んだ31,300人に及ぶ先輩達が、北海道はもとより、日本全国の各地で活躍しています。そして、地域社会からはこれまでの本学の実績に多くの信頼が寄せられています。

短期大学部は、「ライフデザイン学科」と「こども学科」で構成されています。両学科とも社会で即戦力として活躍できる幅広い教養と専門的知識を身に付けることのできる教育内容でカリキュラムが編成されています。「ライフデザイン学科」は、残念ながら、令和4年度をもって学生募集を停止しました。現在2年生のみの在籍となります。その教育内容の大部分は4年制大学の芸術学科に発展的に継承されることとなります。一方、「こども学科」は、「保育コース」「教育コース」の2コースからなります。道内で唯一保育士の資格取得、幼稚園と小学校教諭の教員免許の3資格・免許を取得できる短期大学として、子どもたちを支援する専門職として活躍できる人材の養成を目指しています。

大学は、これまでの小学校、中学校、高等学校で身に付けてきた知識や考え方を基盤にして、主体的に自らの専門性を深めるために学修・研究する場であります。この2年間の学生生活で身に付けた専門性は、社会で皆さんが活躍するための出発点となります。そのためには、自ら主体的にどの科目を選択し、どのようなテーマで研究を深めるかが求められ、そのことがこれからの皆さんの社会人としての人生の土台となります。また、大学生活は、大人としての生活の始まりでもあります。自主的なサークル活動やアルバイトも一人の大人として責任を持って活動することができます。また、広く社会を見つめ、学修を基盤とした自律した生活を送ることが求められます。

この「学生便覧」は、皆さんが学生生活を送る上での手引きであり、社会に出てからも皆さんの学修の履歴を確認するためのものでもあります。どのような資格を取得して社会で活躍するのか、どのような学生生活を送るのか、この便覧をもとにして学修計画を練り上げてください。

最後に、本学は、「愛と和と英知」を教育理念として教育活動を展開しています。これは学生にだけ求めるものではなく、教職員一人一人にとっても大切な理念です。その理念を共有して、皆さん一人ひとりが夢や希望の実現に向けて実りある大学生活を送ることを支援したいと考えています。